

科学者委員会広報分科会（第 22 期第 24 回）議事要旨

1. 日 時 平成 26 年 1 月 10 日（金）14:00～15:30
2. 場 所 日本学術会議 6-A 会議室(1) 6 階
3. 出席者 辻村みよ子委員長、北里洋副委員長、小森田秋夫幹事、
那須民江幹事（skype 参加）、吉川泰弘委員、萩原一郎委員、
渡辺美代子委員、
日本学術会議事務局企画課：高橋、伊藤、島田
日本学術協力財団：南

【配布資料】

- | | |
|---------|--------------------------------|
| 資料 1 | 第 24 回科学者委員会広報分科会出席者一覧 |
| 資料 2－1 | 第 21 回科学者委員会広報分科会議事要旨公開版 |
| 資料 2－2 | 第 21 回科学者委員会広報分科会議事要旨詳細版（案） |
| 資料 2－3 | 第 22 回・23 回科学者委員会広報分科会議事要旨（案） |
| 資料 3 | 『学術の動向』平成 26 年 1 月号以降の掲載予定記事一覧 |
| 資料 4 | 現在寄せられている『学術の動向』特集記事等の企画案等 |
| 資料 4－1～ | 各企画案 |
| 資料 5 | 科学者委員会広報分科会内規（各賞受賞時の対応） |
| 資料 6 | 学術の動向掲載申請書（フランクリン賞受賞） |

別添資料 日本学術会議英文パンフレット（2013 年 9 月版）

【参 考】

- 参考 1 日本学術会議関連イベントスケジュール

議 事

- （1）第 21 回及び第 22 回・23 回科学者委員会広報分科会議事要旨について
・原案のとおり了承された。

- （2）日本学術会議の広報活動について
・英文パンフレット第 22 期改訂版について紹介された。

- （3）『学術の動向』について
『学術の動向』への編集協力について
＜特集＞

平成 26 年 6 月号までの特集テーマについて次のようなテーマで掲載することとした。
特集企画が提出待ちのものについては、早急に提出を督促することとした。

（2 月号）

- ・特集 1：『材料工学の人材育成』
- ・特集 2：『福島原発事故に対する法的対応と課題』

(3月号)

- ・特集1：『科学・公益・社会-情報発信のあり方を考える』
- ・特集2：『原子力発電の社会的普及プロセスの歴史的検討』

(4月号)

- ・特集1：『力学基盤の課題とその解決に向けて』
- ・特集2：『原発災害からの回復と復興のために必要な課題と取り組み態勢についての提言』

(5月号)

- ・特集1：『教養教育は何の役に立つのか？-ジェンダー視点からの問いかけ』
- ・特集2：『生活習慣病予防、重症化予防の推進のための健診・保健指導の在り方』

(6月号)

- ・特集1：『大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン』
- ・特集2：『3.11後の科学と社会 福島から考える』

<表紙>

- ・2月号及び3月号の表紙については依頼済であるとの報告があった。表紙については分科会を開催する際に、候補を確認できるのが望ましく、今後は事前に用意することとした。

<編集後記担当>

- ・平成26年12月号までの担当委員を決定した。

<その他>

- ・科学者委員会において、広報分科会内規（各賞受賞時の『学術の動向』掲載対応）について承認されたとの報告があった。また、今後の掲載基準について広報すべきとの意見が出されたことから、『学術の動向』に掲載することとした。
- ・現在『学術の動向』へ掲載の推薦がされている「伊賀教授のフランクリン賞受賞」の紹介の記事について審議し、掲載することを決定した。

(4) その他

- ・次回の広報分科会の開催日は、総会2日目の4月11日（金）16時から開催することとしたが、総会における委員の参加状況を確認した上で決定することとした。

以上